

ITI Study Club



東北支部会 2019.9.29

ITI 日本支部公認インプラントスペシャリスト
■リージョナルスタディクラブミーティング■ 更新5単位

Message:

2017年より ITI Study Club の支部制が発足し、東北の 6SC が東北支部となります。同支部での ITI のアクティビティを高めていくため、年に1度合同でミーティングを開催することとなっています。第2回目となる今年度は ITI Section Japan コミュニケーションオフィサーの上浦庸司先生と ITI Study Club 関東1支部長の新村昌弘先生をお招きし、ご講演をいただきます。また午後からは、各SCメンバーによる症例/研究発表をいたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。ITIメンバー以外の方のゲスト参加も歓迎いたします。



支部長 高野 清史

SC Information:

SC名	SCディレクター名	SCコディレクター名
青森	梅原 一浩	山崎 尚之
岩手	近藤 尚知	鬼原 英道/横田 潤
仙台	高橋 哲	小山 重人/依田 信裕
秋田	柴田 貞彦	小玉 尚伸
山形	黒江 敏史	青山 登
福島	高野 清史	末永 弘卓

Meeting Data:

Date:
2019年9月29日(日)
9:30～15:30

Venue:

東北大学歯学部 1F 大会議室
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4番1号

協力:ストローマンジャパン株式会社

Main Speaker:



上浦 庸司 先生

医療法人熊澤歯科 上浦歯科クリニック

ITI コミュニケーションオフィサー、ITI フェロー
北海道大学臨床教授
Center of Implant Dentistry (CID) Club 理事
小樽歯科衛生士専門学校非常勤講師
日本口腔インプラント学会
日本補綴歯科学会
インプラントスクディグループ小樽代表



新村 昌弘 先生

医療法人社団健進会 にいむら歯科医院

医学博士、日本口腔インプラント学会専門医、指導医
ITI Fellow, ITI Study Club 関東1 支部長, ITI Study Club 東京2 ディレクター
埼玉医科大学歯科口腔外科非常勤講師, CID (Center of Implant Dentistry) 会長
PRGF-Endoret® Institute Japan 公認インストラクター
ITI 日本支部公認インプラントスペシャリスト
日本顎咬合学会会員, 日本矯正歯科学会会員, 日本歯科麻酔学会会委員
日本臨床歯周病学会会員, 日本顎顔面インプラント学会会員
日本顎微鏡歯科学会会員, 歯科基礎医学学会会員

Program:

9:30～
12:00

1. 開会あいさつ 支部長 高野 清史 先生
2. ITI セクションジャパン報告
3. シンポジウム
モデレーター 梅原 一浩 先生 鬼原 英道 先生
- 「開業医におけるfull digital implantology への取り組み、ITIネットの活用」 コミュニケーション オフィサー 上浦 庸司 先生
- 「インプラント治療におけるデジタルデンティストリーの現在」 SC 関東1 支部長 新村 昌弘 先生

(ランチ休憩)

13:00～
15:30

1. メンバー発表 6名(発表15分+質疑応答5分) モデレーター 柴田 貞彦 先生 黒江 敏史 先生
- 重度歯周炎に対し歯周補綴なしで、歯周-矯正-インプラント治療を行った症例 SC 青森 工藤 求 先生
- 前歯部単独歯欠損修復 成功と失敗 SC 秋田 小玉 尚伸 先生
- I型コラーゲンによる抗上皮細胞付着性を有する生体模倣インプラント表面の開発 SC 岩手 野尻 俊樹 先生
- インプラントによる欠損修復後の下顎骨骨折による顎位の変化に対応した症例 SC 山形 大泉 博史 先生
- 過剰な力による咬合崩壊に対して、インプラントを用いて咬合再構成を行った一症例 SC 仙台 菅崎 紳 先生
- 症例に応じたサージカルガイドの使用と有効性 SC 福島 片岡 展夫 先生
2. 閉会あいさつ 高橋 哲 先生

General Information:

受講対象者: ITIメンバーまたは、ITIご入会を検討されている方*

定員: 100名

参加費: 無料

申込方法: ITI SC所属メンバー → ITI からインビテーションが届きますのでお手続きください。

上記以外の方 → 右記、QRコードを読み込んで、お手続きください。(https://jp.surveymonkey.com/r/X3MKTRT)

※ ITI Study Clubに通算2回以上ご参加の方はITIにご加入いただけます。

